

第8回 第2期中海自然再生協議会議事録

日時 平成22年7月10日(土) 13:30~17:00

場所 島根県庁会議棟1階 第1会議室 (松江)

高安会長の司会のもとで、今回は実施計画の大枠をつくることを目標に進めたいことが述べられ、議事を行った。

議事

- ・ 中海自然再生事業実施計画案について

専門家会議の報告(資料配付)が国井委員長からなされた。個別事業実施計画については、これまでに討議がなされていなかった2つの課題について、計画案6. 密度流拡散装置による貧酸素水塊の除去及び周辺部の水環境改善および計画案7. 中海北部の浅場における自然再生についての説明が実施担当者からあり、それぞれ討議がなされた。これらを含めて、配付された中海自然再生実施計画(案)の全体について、一部を手直しをした上で、環境省のもとに置かれている専門家会議宛に提出することとしたいとの会長からの発言があり、全体として了承された。

- ・ 今後の予定について

協議会としての今後の予定について、相崎事務局長から配布資料をもとに説明がなされた。実施計画案については環境省米子環境事務所を通して国に提出、その後に主務省庁の決定、計画案についての指導などを経て、再度協議会において検討し、採択までの工程があること、2011年3月には第3期協議会委員の公募が開始され、採択された課題が実施に移行することになることが説明された。また、今後、いくつかの実施計画を成功に導くためにアドバイザー会議を設置することが提案され、高安克己・国井秀伸・中尾 繁・倉田健吾・相崎守弘の各氏が候補者として推薦された。この会議の機能としては、個別の実施計画を進める上での相談役であるとの説明が会長からなされた。また、アドバイザーには行政機関からの参加を求めているかどうかとの意見がだされ、今後検討することとした。

報告

- ・ 次回の協議会の日程は平成22年10月16日とすることが提案され、承認された。
- ・ ラムサール条約5周年記念事業について島根県自然環境課から配付資料をもとに説明がなされ、COP10の成功に向けて積極的な参加の要請がなされた。
- ・ 中海自然再生協議会への支援の一つとして、平成22年度の環境省による地域生物多様性保全活動支援事業としてNPO法人自然再生センターが「生物多様性保全計画策定事業(中海自然再生について)」として7月1日付けで採択されたことが報告された。

(以上)

